

一般社団法人新潟県臨床検査技師会
平成30年度通常総会議案書

期 日 平成30年 5月27日（日） 15時50分開会

会 場 新潟ユニゾンプラザ 4階 大会議室

総会次第

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 来賓紹介
4. 資格審査報告
5. 議長選出
6. 議長挨拶
7. 総会役員選出
 - 1) 書記任命
 - 2) 議事録署名人任命
8. 表 彰
9. 議 事
 - 1) 第1号議案 平成29年度事業報告について
 - 2) 第2号議案 平成29年度収支決算書について
 - 3) 第3号議案 平成29年度監査報告について
 - 4) 第4号議案 支部提出議案について
 - 5) 第5号議案 日臨技定期総会提出議案について
 - 6) その他
10. 平成30年度事業計画および収支予算について（報告）
11. 総会役員解任
12. 議長挨拶
13. 閉会の辞

平成29年度事業報告について

会長

渡邊 博昭

平成29年度もこれまでの会務を遂行するとともに、12月17日に新潟テルサで開催いたしました第91回新潟県臨床検査学会では309名の方々に参加いただき、盛会裏のうちに無事終了いたしました。これもひとえに、会員の皆様からの応援と、ご協力のおかげと実務委員一同、感謝いたします。

本年度も理事が一丸となって努力して参りましたが、至らぬ点がありご迷惑をお掛けしたと思います。しながら無事に会務を遂行できたことは会員の皆様のご理解とご協力によるものと改めて感謝いたします。

平成29年度の事業の概要を下記の通り報告する。

総務部

- ① 平成26年度から一般社団法人に移行したため、定款の確認および各種規定および手順書の見直しを行った。
- ② 表彰関係は昨年度通りの事業を行った。

学術部

- ① 第91回新潟県臨床検査学会を開催した。
- ② 精度管理事業は、日臨技のシステムを使用して事業を行った。
- ③ 検査研究部門活動は活発に開催され、日臨技助成金に対して18研修会の申請を行った。

広報部

- ① 会誌、ニュース、ホームページがそれぞれの役割を明確にして事業を行った。特にホームページは迅速な対応を行った。

1. 通常総会の開催

平成29年5月27日（土）新潟東映ホテルにおいて平成29年度通常総会を開催し、平成28年度事業報告、同決算報告、監査報告の説明があり承認された。また、平成29年度事業計画（案）、収支予算（案）を報告した。

2. 会務の執行体制

1) 職務分担

平成29年度は新役員による会務の執行にあたり、学術部、広報部、総務部の3部門に理事を配置し、各部門との連携を図りながら会務を執行した。

2) 事務局体制

事務局業務が非常に多くなっている現状で、阿部事務員の努力により諸会議の準備や日臨技・北日本支部および会員との連絡・調整役を担い、又、JAMTIS運用による会員情報登録および変更作業を迅速に処理し、組織運営上、大変重要な役割を果たしている。

3. 諸会議の開催

- 1) 理事会
第1回 平成29年4月15日（新潟ユニゾンプラザ小研修室4）
第2回 平成29年5月13日（新潟県公社総合ビル3F会議室）
第3回 平成29年5月27日（新潟東映ホテル2Fホール）
第4回 平成29年6月17日（新潟県公社総合ビル3F会議室）
第5回 平成29年7月15日（新潟県公社総合ビル3F会議室）
第6回 平成29年10月21日（新潟県公社総合ビル3F会議室）
第7回 平成29年12月2日（新潟県公社総合ビル3F会議室）
第8回 平成30年1月13日（ブラーカ KENTO RoomB）
第9回 平成30年2月25日（新潟県公社総合ビル3F会議室）
第10回 平成30年3月17日（新潟県公社総合ビル3F会議室）

2) 常任理事会

定例常任理事会は隔月第2土曜日の開催を目標としていたが、平成29年度は2回の開催となった。

3) 三役会議

急な協議事項等についてはメール等を利用し協議を行い、特に三役会議は開催しなかった。

4) 各種委員会の開催

(1) 会誌編集委員会

新臨技会誌（季刊発行）第303号から第306号の編集業務のため、4回開催した。

(2) ホームページ委員会

会員への情報伝達手段としてホームページの充実と運用に努めた。

(3) 検査研究部門委員会議

各検査研究分野の活動計画並びに運営等を協議するため1回開催した。

(4) 生涯教育研修委員会

理事会や各支部生涯教育委員と連絡をとりながら研修会予定および参加者の登録を行った。

(5) 精度管理委員会

精度管理調査の事業計画、集計処理状況把握、検討会企画の協議のため6回開催した。

(6) 表彰委員会

各種表彰の対象者選考のため、メール等を利用し協議を行った。

4. 組織対策

1) 入会対策

会員数の多い年代が定年を迎え会員数の減少が懸念されるが、各支部役員および各施設連絡責任者の協力により入会を勧めた。

本年度の新入会および再入会の会員数は68名。

本会の正会員総数は1,355名。(平成30年3月現在)

技師連盟入会者数は19名。(平成30年3月現在)

社会的地位向上および今後の業務拡大の為に、更に多くの会員の入会をお願いする必要がある。

2) 各支部との連携強化

各支部ともその地域性を生かした独自の活動が浸透し、年々活発化している。支部総会等に役員を派遣し、連携強化を図った。

5. 地域保健医療活動および公益事業

1) 新潟県臓器移植財団へ賛助会員として参画

2) 佐渡糖尿病ウォークラリー2017に共催団体として参画(6月11日)

3) 父の日企画「家族で守ろうババの健康」へ中越支部が共催団体として参画(6月18日)

4) 中越沖地震エコノミークラス症候群フォローアップ検診に協力(柏崎市7月15・16日)

5) すこやかともしびまつりへ中越支部が共催団体として参画(9月16・17日)

6) ピンクリボンホリデー2017へ参画(10月8日)

7) 第20回新潟市健康福祉まつりへ新潟支部が共催団体として参画(10月15日)

8) 糖尿病を知る集いへ中越支部が共催団体として参画(10月21日)

9) 健康寿命延伸フォーラムへストレスチェックで協力(10月22日)

10) 無料 HbA1c 測定会を実施(11月3日)

11) 世界糖尿病デーin 長岡2017へ中越支部が参画(11月3日)

12) 中越地震エコノミークラス症候群フォローアップ検診に協力(十日町市11月4日)

13) 糖尿病を知る集いへ血糖測定で協力(11月12日)

14) 糖尿病を知る集いへ佐渡支部が血糖測定で協力(11月12日)

15) 新潟市民を対象とした全国検査と健康展を開催(11月25日)

16) 中越地震エコノミークラス症候群フォローアップ検診に協力(小千谷市12月2日)

6. 求人情報

日臨技への情報登録とともに、会員へは新臨技ニュースやホームページ等で求人情報を提供した。

7. 災害関係

災害支援活動や会員の安否確認に威力を発揮する災害支援ネットワークに賛同と登録をお願いした。

登録者は90名(平成30年3月現在)となった。

8. 表彰関係(敬称略)

1) 第35回篠川至賞(篠川至賞選考委員会を経て平成29年5月27日通常総会にて表彰)

学 術 部 門 大谷内 健 二(新潟支部)

2) 平成29年度功労者表彰(平成29年5月27日通常総会にて表彰)

(1) 永年会員功労者表彰 該当者43名

(2) 特別功労者表彰 該当者なし

3) 平成29年度生涯教育履修表彰(平成29年5月27日通常総会にて表彰)

奨 励 賞 寺 島 健 (JA 新潟厚生連小千谷総合病院) 420点

小 野 篤 史 (済生会新潟第二病院) 410点

林 真也 (新潟県立がんセンター新潟病院) 370点

新 人 賞 小林 健太 (新潟県立がんセンター新潟病院) 320点

4) 第91回新潟県臨床検査学会テーマ賞 (平成29年12月17日学会開会式にて表彰)

鈴木 英明 (北里大学保健衛生専門学院)

学術部

副会長 桑原 喜久男

平成29年度は新潟県臨床検査学会、検査研究部門活動、精度管理事業、生涯教育を中心に1年間活動を行った。平成30年度以降の新臨技事業につながる活動にも取り組んだ。

1. 学会

桑原 喜久男

平成29年12月17日(日)に新潟勤労者総合福祉センター 新潟テルサにおいて、第91回新潟県臨床検査学会を開催した。学会テーマは、「～えんでこう!～」として、一般演題33演題(内学生5演題)、特別企画3、パネルディスカッション1、教育講演3、ランチョンセミナー5が行われ、会員242名、賛助会員30名、学生37名、合計309名の参加をいただいた。学会テーマが意味する『みんなで一緒にいこう』に沿い、現在、日臨技が進めている事業を知る機会や、パネルディスカッションでは臨床検査技師を目指す学生が就職を前に不安な事を現場で働く技師から教えてもらえる機会を得た。学会を通じ、ベテランから若手技師まで臨床検査技師を取り巻く状況が変化中、皆で一緒に歩いていこう!と考えられる学会となった。県学会運営において、第91回より各支部での開催持ち回りを止め、会場を新潟市に固定し、実行委員長を支部長持ち回りとした。支部理事の人数に差があり、学会準備、運営においてご苦労をおかけしたが、実務は学術担当理事が行い、実行委員長の支部理事にもお手伝い願う事とした。また、第91回より学会参加費を1,000円から2,000円に値上げをし、学会運営を円滑に行う事ができた。

2. 検査研究部門

中村 岳史

平成29年度検査研究部門は、9部門3分野(生物化学分析部門、臨床一般部門、臨床血液部門、臨床微生物部門、輸血細胞治療部門、病理細胞部門、染色体・遺伝子部門、臨床生理部門、臨床検査総合部門)の9部門また、臨床生理部門は、神経生理分野、循環生理・呼吸生理分野、超音波分野の3分野)で組織構成され、部門構成員は各部門6名、各分野4名、活動費は各部門12万円、各分野8万円で運営された。

今年度、検査研究部門が開催した研修会は、合計21回であった(昨年度19回、一昨年度19回)。各部門分野別では、生物化学分析部門3回、臨床一般部門2回、臨床血液部門2回、臨床微生物部門1回、輸血細胞治療部門2回、病理細胞部門3回、染色体・遺伝子部門1回、臨床生理部門(神経生理分野1回、循環生理・呼吸生理分野1回、超音波分野3回)、臨床検査総合部門2回であった。研修会開催数は、昨年度より増加しており、これは知識や技術の習得に対する意識の高さの表れであると同時に各部門の努力によるものと思われた。

研修会の内容は、専門性の高い内容から初心者を対象とした基礎的内容のものまで幅広く企画されており、全会員が参加しやすい内容であった。また、実技研修も積極的に開催されており、技術面での向上にも寄与できた研修会内容であったと考えられた。

次年度も、引き続き会員の知識や技術の向上のため、様々な学術活動を企画・運営していきたい。

検査研究部門の研修会

部門	開催日	生涯教育点数	参加人数		研修会内容
			会員	非会員	
生物化学分析	平成29年 7月8日(土) 7月9日(日)	専門30	25	0	【第35回日本臨床化学会甲信越支部総会／第15回生物試料分析科学会甲信越支部総会】 会場：霧の浜ニューホテル *日本臨床化学会甲信越支部新潟分会および生物試料分析科学会甲信越支部新潟分会と共催
	平成29年 9月9日(土)	専門20	21	学生 (9名)	【オーソイムノアッセイセミナー】 1. 「イムノアッセイの基本原則」 2. 「イムノアッセイの結果に影響を与える要因」 3. 「ELISA とイムノクロマト実習」 4. 「HCV 検査を例にケーススタディ」 会場：北里大学保健衛生専門学校臨床検査技師養成科生物系実習室 *オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックスと共催
	平成30年 2月3日(土)	専門20	36	0	【新潟県臨床検査技師会生物化学分析部門／第48回日本臨床化学会甲信越支部新潟分会合同研修会】 1. 「腫瘍マーカー腫瘍以外の偽高値と各腫瘍マーカーの特性と注意点」 シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティックス株式会社 萩原 貴裕 2. 「検診機関における腫瘍マーカー検査の精度保障の留意点」 新潟医療福祉大学医療技術学部臨床技術学科 久野野勝男 会場：新潟大学医歯学総合病院 12階 大会議室 *日本臨床化学会甲信越支部新潟分会と共催
臨床一般	平成29年 12月10日(日)	専門20	27	1	【平成29年度臨床一般部門実技研修会】 1. 「基礎分解説」 ①血球類 済生会新潟第二病院 小野 篤史 ②上皮細胞類 労働衛生医学協会新潟ウェルネス 計良 政裕 ③円柱類 新潟大学医歯学総合病院 堀川 良則 2. 「鏡検実習」 3. 「質疑、事前質問事項への回答」 会場：新潟医療技術専門学校 西新潟中央病院キャンパス
	平成30年 3月31日(土)	専門20	41 申請中 (1名)、 県のみ (1名)	3	【平成29年度新臨床臨床一般部門研修会】 1. 「ファブリー病について」 日本医科大学附属病院 臨床検査部 小林 絃士 2. 「寄生虫卵の鑑別とその周辺」 北里大学保健衛生専門学校 小林 浩二 3. 「尿検査から見た腎疾患」 新潟大学医歯学総合病院 細島 康宏 会場：新潟大学医歯学総合病院 12階 大会議室
臨床血液	平成30年 1月27日(土)	専門20	13	0	【平成29年度臨床血液部門研修会】 【鑑別の必要な疾患の検討会】 会場：新潟大学医学部 第二講義室 東京大学医学部付属病院検査部 常名 政弘
	平成30年 3月4日(日)	専門20	48	0	【平成29年度第2回臨床血液部門研修会】 1. 「若手検査技師・夜間当直者に必要な凝固検査の基礎知識」 積水メディカル株式会社 須長 宏行 2. 「順序良く考えて進める凝固検査」 長岡赤十字病院 山田 隆 会場：新潟大学医歯学総合病院 12階 大会議室
臨床微生物	平成30年 1月27日(土)	専門20	24	2	【平成29年度新臨床臨床微生物部門研修会】 1. 「日常的に遭遇する細菌の同定検査 ポイント解説 グラム陽性球菌編」 新潟県立中央病院 山本 絢子 2. 「日常的に遭遇する細菌の同定検査 ポイント解説 グラム陽性桿菌 グラム陰性桿菌、 酵母様真菌編」 長岡赤十字病院 高野 美菜 会場：新潟医療技術専門学校 西新潟中央病院キャンパス
輸血・細胞治療	平成29年 5月20日(土)	専門20	69 賛助会 員(3 名)	0	【輸血細胞治療部門 春の初心者研修会】 1. 「輸血検査・基礎の基礎」 輸血細胞治療部門 高橋 一哲 2. 「伝達講習・ケーススタディから基礎を学ぶ」 県立加茂病院 見辺 典子 会場：新潟大学医歯学総合病院 12階 大会議室
	平成29年 7月9日(日)	専門20	53 賛助会 員(2 名)	0	【平成29年度輸血細胞治療部門 輸血検査実技講習会】 <基礎コース> 血液型、不規則抗体検査を実施し、凝集の見方、試験管の振り方等、初歩的な技術・考え方の習得を目指します。新人や専門に輸血検査をされていない初心者、初級レベルの方が対象 <認定および技能維持コース> 血液型、不規則抗体検査、抗体解離試験等を実施し、総合的に輸血検査の理解を深めます。専門に輸血検査をされている方や、ある程度の基礎技術を持っている中級者レベル以上の方が対象 会場：新潟医療福祉大学 第6研究棟

病理細胞	平成29年 7月22日(土)	専門20	38	7 学生 (1名)	<p>【第39回新潟病理技術研究会(病理細胞部門共催)】</p> <p>1.「病理検査室の環境整備に必要な知識と最近の法改正」 トルネックス株式会社 久保田征広</p> <p>2.「病理検査室のホルマリンガス対策と廃棄方法」 新潟大学医歯学総合病院 川口裕貴恵 立川総合病院 佐藤 信 新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院 徳永 直樹</p> <p>会場：新潟大学医歯学総合病院 12階 大会議室 *新潟支部病理検査研究班と共催</p>
	平成29年 11月5日(日)	専門20	54	12 学生 (1名)	<p>【平成29年度病理細胞部門研修会】</p> <p>1.「甲状腺細胞診の現状と病理診断」 医療法人 神甲会隈病院 病理診断科 廣川 満良</p> <p>2.「甲状腺細胞診のミカタ」 医療法人 神甲会隈病院 臨床検査科 鈴木 彩葉</p> <p>3. 鏡検実習</p> <p>会場：新潟大学医学部 第4講義室 *新潟県細胞検査士会、新潟支部病理検査研究班、日本ベクトン・ディッキンソン株式会社と共催</p>
	平成30年 3月3日(土)	基礎20	26	3	<p>【平成29年度病理細胞部門研修会(第2回)】</p> <p>1.「病理検査室の医療安全」 インシデント事例とその対策 JA新潟厚生連新潟医療センター 長谷川秀浩 新潟県立がんセンター新潟病院 北澤 綾 信楽園病院 土田 尚子 新潟大学医歯学総合病院 池亀 央嗣</p> <p>2.「病理支援システムを活用したインシデント対策」 株式会社富士テクノサプライ 豊島 香</p> <p>3.「医療安全のススメ」 新潟県立がんセンター新潟病院 木下 律子</p> <p>会場：新潟大学医歯学総合病院 12階 大会議室 *新潟支部病理技術研究会と共催</p>
染色体・遺伝子	平成29年 10月7日(土)	専門20	29	0	<p>【平成29年度染色体・遺伝子部門研修会】</p> <p>1.「EGFR 遺伝子検査のご紹介とトピックス」 ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社 高橋 邦明</p> <p>2.「広がる遺伝子検査-診断利用から予防、体質、性格分析利用」 ジェネシスヘルスケア株式会社 傳 亘</p> <p>3.「FISH法：研究と診断の現場化から」 公益財団法人 がん研究会がん研究所 馬場 響子</p> <p>4.「日本人のからだ」 帝京科学大学 医療科学部 高田 雄三</p> <p>5.「全自動遺伝子解析装置 ミュータスワーク1」 和光純薬工業株式会社 荒井 由美</p> <p>会場：新潟大学医学部 第4講義室</p>
	臨床生理	神経生理分野 平成29年 10月21日(土)	専門20	21	2
	循環・呼吸生理 分野 平成29年 6月24日(土)	専門20	85	6	<p>【生理検査基礎セミナー】</p> <p>1.「レクチャー」 ①呼吸機能検査 済生会三条病院 桑原喜久男 ②心電図 魚沼市立小出病院 和智 順子 ③血液データの読み方 魚沼基幹病院 坂西 清</p> <p>2.「心臓外科と心エコー」 新潟市民病院 心臓血管外科副部長 若林 貴志</p> <p>会場：新潟大学医歯学総合病院 12階 大会議室</p>
	超音波分野 平成29年 8月20日(日)	専門20	22	5	<p>【平成29年度超音波検査士対策セミナー】</p> <p>「超音波検査に必要な物理学的基礎知識」 GEヘルスケアジャパン株式会社 山本 幸弘</p> <p>会場：新潟大学医歯学総合病院 12階 大会議室</p>
	超音波分野 平成29年 8月26日(土)	専門20	52	2	<p>【平成29年度超音波実技セミナー】</p> <p>セミナー内容 心臓超音波 JA新潟厚生連長岡中央総合病院 大矢 佳奈 JA新潟厚生連新潟医療センター 三富 圭</p> <p>腹部超音波 JA新潟厚生連小千谷総合病院 寺島 健 新潟県労働衛生医学協会新潟健康増進センター 若林 佳美</p> <p>血管超音波 新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院 瀧澤 瑞美</p> <p>新潟会場：新潟大学医歯学総合病院西病棟 3階 第6検討会室 長岡会場：長岡赤十字病院 第1会議室</p>

	超音波分野 平成29年 11月4日(土)	専門20	70	1	【心エコーセミナー】 1. 「心エコー検査を始める前に確認すべきこと」 2. 「心エコーの正確性・信頼性を高める」 3. 「心エコー ウォールモーショントラッキングに関する基礎講座」 4. 「日常検査における僧帽弁逆流症評価の考え方」 5. 「大動脈弁逆流と弁形成」 6. 「症例検討会」 会場：新潟大学医歯学総合病院 12階 大会議室	済生会三条病院 桑原喜久男 新潟大学医歯学総合病院 小林 絃子 東芝メディカルシステムズ株式会社 堀江 康徳 帝京大学ちは総合医療センター 木村 豊 心臓血管研究所附属病院 種村 正
臨床検査総合	平成29年 9月18日(祝日)	基礎20	18	0	【臨床検査総合部門管理運営研修会】 1. 「ISO15189が求めるもの 臨床検査室認定の意義」 2. 「2025年モデルに向けた病院機能の再編と臨床検査科の対応」 会場：長岡中央病院 2階 講堂	新潟医療福祉大学医療技術学部臨床技術学科 久保野勝男 シーメンヘルスケア株式会社 松尾 久昭
	平成29年 11月18日(土)	専門20	40	8	【平成29年度臨床検査総合部門(公衆衛生)研修会】 1. 「微生物同定の基本 生化学手法から質量分析計まで」 2. 「薬剤耐性菌の疫学と検査法」 会場：コープシティ花園「ガレツ」4F 会議室	シスメックスビオメリユ株式会社 関口 幸恵 国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター第一室 松井 真理

3. 精度管理事業

坂西 清

本年度も新潟県から新潟県医師会への委託事業である平成29年度(第38回)新潟県臨床検査精度管理調査会を行った。技師会としても積極的に当事業に協力し、集計、解析を含めた実務の中心的役割を果たすと共に、臨床検査の精度向上に努めた。

本事業を担当する精度管理委員会は全体会議と臨床化学担当の分科会を含め計6回開催し、実施計画及び配送準備、データ集計、解析を実施した。

微生物検査は技師会が担当する一般菌1菌種の感受性と、新潟県保健環境科学研究所が担当する2菌種の同定を合わせて実施した。

臨床化学は昨年同様27項目を実施した。調査試料は低濃度域に自家製ヒトプール血清を用い、高濃度域には市販管理試料を用いた。評価基準は(一社)日本臨床衛生検査技師会精度管理調査に準じた。

本年度も酵素項目はReCCS標準物質を用い、JSCC常用基準法にトレーサブルであるJSCC SOP法で目標値を設定した。しかし、本法測定値と報告平均値に差が見られた項目があった。この項目については基幹施設報告平均値を目標値とした。濃度項目は基幹施設に依頼して、ReCCS標準物質を用いた日常検査法で目標値を設定した。クロール(Cl)については、ReCCS標準物質がドライアイスの影響を受けることが判明したため、基幹施設報告平均値を目標値とした。また、HDLコレステロール、LDLコレステロールは今回の調査に用いた試料において測定方法(測定試薬)により値が異なるため、できるだけ多くの測定方法(測定試薬)に目標値を設定したいと考えメーカーの報告値を目標値とした。HbA1cは本年度より日本赤十字社全血検体を用いたが、測定方法(測定試薬)により反応性が異なるためメーカー報告値を用いて測定方法毎に目標値を設定した。ドライケミストリー法はナトリウム(Na)、カリウム(K)、クロール(Cl)はドライケミストリー法以外の方法と同様の評価基準としたが、それ以外の評価項目はマトリックスの影響を受けやすいため、評価Bを1.5倍(目標値 \pm 7.5%)に広げた。

集計に用いた精度管理用システム(JAMTQC)は5施設未満の集団の統計処理、および目標値の設定が不可能である。そのため、方法別および試薬別に目標値を設定した項目で5施設未満の場合は評価を「施設別報告書」に反映させることが不可能であることから「対象外」の表記になる。ご不便をおかけすることをお詫びするとともに、目標値を参考に自施設の正確度の判断をお願いしたい。

集計作業の迅速化、誤登録防止を目的に、日本臨床衛生検査技師会の精度管理システムを使用してのWeb報告を実施し、特に問題なく報告作業は行われたが、まだ不備がある事から、日臨技との連携を密にして改善

していきたい。

精度管理調査事業の内容は以下のとおりである。

1. 試料の到着 臨床化学は平成29年10月30日（月）に到着予定です。
2. 測定日 サンプル到着後、可能な範囲で速やかに実施してください。
3. 測定項目

1) 臨床化学 ※生化学試料：冷凍試料 ・HbA1c 試料：冷凍試料

グルコース (Glu)、ヘモグロビン A1c (HbA1c)、総ビリルビン (TB)、ナトリウム (Na)、カリウム (K)、クロール (Cl)、カルシウム (Ca)、無機リン (IP)、鉄 (Fe)、マグネシウム (Mg)、総蛋白 (TP)、アルブミン (Aib)、C 反応性蛋白 (CRP)、尿酸 (UA)、尿素窒素 (UN)、クレアチニン (Cre)、総コレステロール (TC)、中性脂肪 (TG)、HDL- コレステロール (HDL)、LDL- コレステロール (LDL)、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST)、アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT)、アルカリフォスファターゼ (ALP)、乳酸デヒドロゲナーゼ (LD)、アミラーゼ (AMY)、クレアチンキナーゼ (CK)、 γ -グルタミルトランスフェラーゼ (GGT)、コリンエステラーゼ (ChE) の28項目。

ドライケミストリー法は本年度も無機リン (IP)、総ビリルビン (TB) を実施しますが、参加は選択可能とします。また、LDL- コレステロール (LDL) は実施しません。

2) 血液 ※血液試料：冷蔵試料

CBC 6 項目 (ヘモグロビン濃度、血小板数、白血球数、赤血球数、ヘマトクリット値、平均赤血球容積)

4. 測定方法

各施設で使用している試薬、機器を用いて測定してください。

測定回数はルーチン検査と同様、「1回測定」の測定値をご報告ください。また、他施設の情報を得ることは禁止します。

5. サンプル及び取り扱い

1) 臨床化学

※ドライケミストリー法は専用のサンプル13、14を測定してください。

試料	測定項目	取扱い上の注意
11	グルコース (Glu)、総ビリルビン (TB)、ナトリウム (Na)、カリウム (K)、クロール (Cl)、カルシウム (Ca)、無機リン (IP)、鉄 (Fe)、マグネシウム (Mg)、総蛋白 (TP)、アルブミン (Aib)、C 反応性蛋白 (CRP)、尿酸 (UA)、尿素窒素 (UN)、クレアチニン (Cre)、総コレステロール (TC)、中性脂肪 (TG)、HDL- コレステロール (HDL)、LDL- コレステロール (LDL)、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST)、アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT)、アルカリフォスファターゼ (ALP)、乳酸デヒドロゲナーゼ (LD)、アミラーゼ (AMY)、クレアチンキナーゼ (CK)、 γ -グルタミルトランスフェラーゼ (GGT)、コリンエステラーゼ (ChE)	ヒト血清です。サンプル到着後は-40℃以下に凍結保存してください。不可能な場合、できるだけ速やかに測定してください。測定時は流水中で融解してください。また、感染性の確認はしてありません。取り扱いには十分注意してください。
12	グルコース (Glu)、ナトリウム (Na)、カリウム (K)、クロール (Cl)、カルシウム (Ca)、鉄 (Fe)、マグネシウム (Mg)、総蛋白 (TP)、アルブミン (Aib)、C 反応性蛋白 (CRP)、尿酸 (UA)、尿素窒素 (UN)、クレアチニン (Cre)、総コレステロール (TC)、中性脂肪 (TG)、HDL- コレステロール (HDL)、LDL- コレステロール (LDL)、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST)、アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT)、アルカリフォスファターゼ (ALP)、乳酸デヒドロゲナーゼ (LD)、アミラーゼ (AMY)、クレアチンキナーゼ (CK)、 γ -グルタミルトランスフェラーゼ (GGT)、コリンエステラーゼ (ChE)	ヒト血清由来凍結品です。サンプル到着後は-40℃以下に凍結保存してください。不可能な場合、できるだけ速やかに測定してください。測定時は流水中で融解してください。また、感染性の安全はできる範囲で確認済みですが、取り扱いには十分注意してください。
13 (DRY I) 14 (DRY II) ※ドライケミストリー法専用	グルコース (Glu)、ナトリウム (Na)、カリウム (K)、クロール (Cl)、カルシウム (Ca)、鉄 (Fe)、マグネシウム (Mg)、総蛋白 (TP)、アルブミン (Aib)、C 反応性蛋白 (CRP)、尿酸 (UA)、尿素窒素 (UN)、クレアチニン (Cre)、総コレステロール (TC)、中性脂肪 (TG)、HDL- コレステロール (HDL)、LDL- コレステロール (LDL)、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST)、アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT)、アルカリフォスファターゼ (ALP)、乳酸デヒドロゲナーゼ (LD)、アミラーゼ (AMY)、クレアチンキナーゼ (CK)、 γ -グルタミルトランスフェラーゼ (GGT)、コリンエステラーゼ (ChE)	ヒト血清です。サンプル到着後は-40℃以下に凍結保存してください。不可能な場合、できるだけ速やかに測定してください。測定時は流水中で融解してください。また、感染性の確認はしてありません。取り扱いには十分注意してください。
17	ヘモグロビン A1c (HbA1c)	ヒト血液です。通常の検体と同様に測定してください。感染性の安全はできる範囲で確認済みですが、取り扱いには十分注意してください。また、サンプル到着後は冷蔵保存し、できるだけ速やかに測定してください。

2) 血液

試料	測定項目	取扱い上の注意
41	ヘモグロビン濃度、 血小板数、 白血球数、 赤血球数、 ヘマトクリット値、 平均赤血球容積	<p>市販管理血球です。サンプル到着後は冷蔵保存してください。(凍結厳禁)。感染性の完全な否定はできませんので、取り扱いには十分注意してください。</p> <p>[装置の測定条件]</p> <p>(1) マニュアルとクローズドの測定モードがある場合、マニュアルモードで測定してください。</p> <p>(2) 患者検体を測定するモードで測定してください。</p> <p>(3) CBCのみ(白血球分画等なし)のモードで測定をお願いします。CBCのみにできない機種はそのまま測定してください。なお、赤芽球等を白血球から除外する機能を有する機種の場合、除外前の白血球数で報告してください。</p> <p>(4) ヘモグロビン測定において、シアンを用いるか用いないかの方法選択ができる機種については、通常業務で用いている方法で行ってください。</p> <p>[試料の準備と測定]</p> <p>室温に15分間静置後、静かに転倒混和ときりもみを繰り返し行い、充分に混和してください。(激しく振ることは絶対に避けてください)。よく混和された状態で、直ちに測定してください。</p> <p>報告値については、「測定機種に依存する注意事項について」を参照してください。</p>

6. 成績報告締切：平成29年11月6日(月)

7. 報告(臨床化学・血液)

日臨技システムでの報告となります。日本臨床衛生検査技師会のHPよりJAMT QCに入っていた
だき、参加登録、試料到着の登録を実施後、システムにて報告をお願いいたします。

8. 参加費 昨年までと同様に無料です。

9. 目標値と評価基準について

1) 臨床化学

グルコース (Glu)、ナトリウム (Na)、カリウム (K)、クロール (Cl)、カルシウム (Ca)、尿酸 (UA)、
尿素窒素 (UN)、クレアチニン (Cre)、総コレステロール (TC)、中性脂肪 (TG)、HDL-コレステロー
ル (HDL)、LDL-コレステロール (LDL)、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST)、
アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT)、アルカリフォスファターゼ (ALP)、乳酸デヒドロゲ
ナーゼ (LD)、アミラーゼ (AMY)、クレアチンキナーゼ (CK)、 γ -グルタミルトランスフェラー
ゼ (GGT)、コリンエステラーゼ (ChE)、ヘモグロビン A1c (HbA1c) は次頁の表の標準物質及び
測定方法で目標値を設定し、日本臨床衛生検査技師会精度管理調査の評価基準に準じて評価を行いま
す。HDL-コレステロール (HDL)、LDL-コレステロール (LDL) は測定試薬別に評価を行います。
ドライケミストリー法も同様に評価を行います。日本臨床衛生検査技師会精度管理調査の評価基準を
以下に示します。ただし、反応性等に問題が確認された場合、変更する場合があります。総ビリルビ
ン (TB)、無機リン (IP)、鉄 (Fe)、マグネシウム (Mg)、総蛋白 (TP)、アルブミン (Alb)、C
反応性蛋白 (CRP) は評価せず、単純集計のみを実施します。

【日本臨床衛生検査技師会臨床化学部門評価基準】

項目、試料ごとに目標値を定め、さらに目標値に対して以下に示す評価幅を加え評価基準とする。

評価 A：「基準」を満たし、優れている

目標値 \pm 生理的変動を基に算出した施設間の許容誤差限界 (analytical bias, B_A)^{*1)} 内の報告値。健康人
の生理的変動幅から算出され、項目によっては大きな数値となっているため、上限を5%に設定した。

*1) B_A ：日本臨床化学会クオリティマネジメント専門委員会：生理的変動に基づいた臨床化学検査36項目に
おける測定の許容誤差限界、臨床化学2006；35：144-153

評価 B：「基準」を満たしている

目標値 \pm 体外診の性能確認幅^{*2)} 内の報告値。但し、現状の収束状況を考慮し上限を5%と設定した。

*2) 体外診の性能確認幅：平成9年の医薬発139号の厚生省医薬安全局長通知(体外診断用医薬品の取扱い
について)、医薬審第181号の医薬安全局長管理課長通知、厚生省医薬安全局審査
管理課事務連絡(体外診断医薬品の申請の際の性能の確認について)、等の許容

測定変動係数（範囲）に準じた

評価 C：「基準」を満たしておらず改善が必要

目標値±評価 B の幅を超え、この幅の最大1.5倍までの報告値。

評価 D：「基準」を満たしておらず改善が必要

目標値±評価 C の幅を超えた報告値。

臨床化学目標値設定方法と評価基準

項目	単位	標準物質	測定方法	評価基準	
グルコース (Glu)	mg/dL	ReCCS 標準品	ヘキソキナーゼ法、電極法	目標値±2.3%	
ナトリウム (Na)	mEq/L		電極法	目標値±2 mEq/L	
カリウム (K)	mEq/L		電極法	目標値±0.15mEq/L	
クロール (Cl)	mEq/L		電極法	目標値±2 mEq/L	
カルシウム (Ca)	mg/dL		各種測定方法	目標値±1%	
尿酸 (UA)	mg/dL		ウリカーゼ・POD 法	目標値±5%	
尿酸窒素 (UN)	mg/dL		アンモニア消去法	目標値±5%	
クレアチニン (Cre)	mg/dL		酵素法	目標値±5%	
総コレステロール (TC)	mg/dL		酵素法	目標値±4.5%	
中性脂肪 (TG)	mg/dL		酵素法 (FG 消去)	目標値±5%	
HDL-コレステロール (HDLc)	mg/dL		各社直接法	目標値±5%	
LDL-コレステロール (LDLc)	mg/dL		各社直接法	目標値±5%	
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST)	U/L		JCCLS CRM001	JSCC (JCCLS) 自動化法	目標値±5%
アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT)	U/L			JSCC (JCCLS) 自動化法	目標値±5%
アルカリフォスファターゼ (ALP)	U/L	JSCC (JCCLS) 自動化法		目標値±5%	
乳酸デヒドロゲナーゼ (LD)	U/L	JSCC (JCCLS) 自動化法		目標値±3.9%	
アミラーゼ (AMY)	U/L	JSCC (JCCLS) 自動化法		目標値±5%	
クレアチンキナーゼ (CK)	U/L	JSCC (JCCLS) 自動化法		目標値±5%	
γ-グルタミルトランスフェラーゼ (GGT)	U/L	JSCC (JCCLS) 自動化法		目標値±5%	
コリンエステラーゼ (ChE)	U/L	JCCLS CRM002	JSCC (JCCLS) 自動化法	目標値±4.7%	
ヘモグロビン A1c (HbA1c)	%	JCCRM411	HPLC 法	目標値±5%	

2) 血液

ヘモグロビン・血小板数・白血球数・赤血球数について、各メーカー製キャリブレーターにより校正が行われた装置で、測定の協力が得られた機種について、その値を目標値に設定し、機種別に評価基準に添って該当機種のサンプルについて評価を行います。

ヘモグロビン・白血球数・赤血球数について、評価基準は臨床的許容限界 JCCLS, 1994を基に設定しました。血小板数については、試料の目標値が基準値下限付近であることから、他県の精度管理の状況を参考に設定しました。

ヘマトクリット、平均赤血球容積は評価せず、単純集計のみ実施します。

血液検査 評価基準

項目	単位	目標値設定装置	評価基準
ヘモグロビン	g/dL	ICSH CLSI の推奨する国際標準法にトレーサビリティが確保された各メーカーキャリブレーターにより校正された装置	目標値±3.6%
血小板数	×10 ⁹ /L		目標値±10.0%
白血球数	×10 ⁹ /L		目標値±5.6%
赤血球数	×10 ¹² /L		目標値±4.1%

- 3) 一般フォトサーベイ
 - 1 一般検査フォトサーベイを実施します。設問数は16設問、評価対象は設問1～12です。
アンケートにもご協力ください。
 - 2 問題について
平成29年10月30日(月)から、「日臨技精度管理調査システム」より閲覧・ダウンロードが可能です。
 - 3 回答締切：平成29年11月6日(月)23：59
 - 4 回答方法
日臨技精度管理調査システムより、下記の要領で「平成29年度新臨技一般フォトサーベイ手引書」をダウンロードし、よく読んで回答してください。手引書には、設問集と、フォト集が入っています。
 - 5 注意事項
可能な限り鑑別しやすい写真を選定していますが、プリントアウトする場合は印刷機の性能により判別が難しくなることがあります。必ず一度はダウンロードしたPDFファイルをPCモニター上で確認してください。
 - 6 評価方法
「臨床検査精度管理調査フォトサーベイ評価法における日臨技指針」に則り、評価を行います。
- 4) 微生物(薬剤感受性)精度管理調査実施要項
 - 1 検査開始日 試料を受取り次第、検査を開始してください。
 - 2 検査項目 試料中に含まれる病原細菌のオキサシリン(MPIPC)、セフォキシチン(CFX)、イミペネム(IPM)3薬剤について薬剤感受性検査を実施し、日常的に臨床へ行う最終報告を入力してください。
 - 3 検査方法 各施設で日常的に行っている方法で実施してください。
 - 4 試料 試料C(*Staphylococcus aureus*)を用いて実施してください。
 - 5 試料の取扱い 試料は検査開始まで冷蔵保存してください。また、試料には病原細菌が含まれていますので、取扱いには十分注意してください。
 - 6 試料の調整 試料Cはカジトン培地にて保存してあります。
※一旦、ハートインフュジョンブイヨン培地等で増菌し、平板培地にひろげた後、独立集落を鈎菌してください。
 - 7 報告期限 平成29年11月17日(金)締め切り
 - 8 報告方法 結果報告はWEB報告とします。

4. 生涯教育

近藤 善仁

各検査研究班・各支部担当者にご尽力いただき、行事登録および参加者登録を行ってもらった。一昨年より稼働した新しい日臨技情報総合システム(JAMTIS)の操作にも慣れ、役員改正の年ではあったが、スムーズに処理を実行できた。また、日臨技より支給される「生涯教育推進研修会助成金」の交付額は、16研修会・計638,500円(3月9日現在予定)を受け取ることができたが、一部申請不備や申請時期の都合により、不採用研修会があった。

広報部	副会長 坂西 清
-----	----------

今年度も、新臨技会誌、新臨技ニュース、新臨技ホームページの運営を通じて全会員にリアルタイムに情報の提供が出来るよう心がけ、情報発信手段として安定した運営を目指し活動を行ってきた。新臨技ニュースは、理事会議事要旨、研修会案内および求人情報など新臨技の新しい情報をいち早く会員施設へ提供できた。ホームページにおいては、規律ある運営の中、会員に有用な情報をできるだけ掲載することに努めて来た。会

誌に関しては、学会参加報告では、初めての演題発表者に焦点をあてるなどの企画も実施するなど、親しみやすい内容から、学術的な内容まで幅広い内容の会誌発行を務めてきた。

1) 新臨技会誌

神林 真弓

〔講義・研究〕は基礎的内容と話題性を中心に力を入れてきた。

〔研修会報告〕は参加会員の協力を得て研修会を身近に感じ、参加できなかった会員の方にも講義内容をお伝えできる頁とした。

〔認定技師制度紹介〕は臨床検査技師に関わる様々な認定資格を紹介し、スキルアップに繋がる情報提供をした。

〔ペンリレー〕〔新入会員紹介〕〔検査技師として～私の奮闘記～〕の掲載は誰でも参加でき、かつ会員同士の繋がりを深める内容となった。

〔公益活動参加報告〕は公益活動を通して一般の方に臨床検査技師を知っていただく良い機会でもあり、多くの会員に参加していただけるような情報ツールとした。

〔施設紹介〕は病院から学校まで職種を問わず臨床検査技師の免許を生かせる職場の紹介をし、施設情報の共有を図った。

また、掲載は来年度からになるが、新しい試みとして〔学会参加報告〕と題し、始めて学会発表した会員に感想を含め報告書を執筆していただく企画を設けた。

年4回 季刊発行(303号から306号まで)

〈平成29年度会誌掲載内容〉

303号 平成29年4月1日

〔講義〕乳房超音波検査における基礎理論と臨床応用

小柳 敬子

〔研究〕

新潟県における多剤耐性緑膿菌、多剤耐性アシネトバクター、

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌の分離状況

菅原 芳秋

High resolution melting analysis による大腸がんのRAS 遺伝子変異検査

林 真也

〔お知らせ〕第91回新潟県臨床検査学会案内(予告)メインテーマ募集のお知らせ

〔研修会参加報告〕

平成28年度第3回新臨技臨床一般部門新潟支部一般検査研究班合同研修会に参加して

渡邊 愛深

臨床血液部門研修会に参加して

笠井恵美子

平成28年度新潟県臨床検査技師会染色体・遺伝子研修会参加報告

椎谷 恵子

平成28年度下越支部第2回研修会報告

高口 功

佐渡支部研修会に参加して

姥沢 里香

〔施設紹介〕医療法人 立川メディカルセンター 立川綜合病院

水沢 直人

〔認定技師制度紹介〕認定心電検査技師について

末永 有香

〔ペンリレー〕

若林もえこ

〔検査技師として～私の奮闘記～〕

検査技師として～私の奮闘記～

大澤 まみ

検査技師として～私の奮闘記～

関 俊輔

検査技師として～私の奮闘記～

五十嵐菜美

検査技師そして親として～私の奮闘記～

奈良 真美

検査技師として～私の奮闘記～

田中 由香

検査技師として～私の奮闘記～	坂下 康央
検査技師として～私の奮闘記～	長谷川一稀
[会 報]	
平成29年度通常総会議案書	
平成28年度第8回理事会議事録	
平成28年度第9回理事会議事録	
平成28年度第10回理事会議事録	
〈一社〉新潟県臨床検査技師会篠川至賞受賞者一覧	
新入会員紹介	
新臨技会日誌	
[行事予定]	
304号 平成29年7月1日	
[あいさつ] 会長就任のあいさつ	渡邊 博昭
[施設紹介] 新潟聖籠病院	宮澤 晴美
[受賞者のことば]	
篠川至賞を受賞して	大谷内健二
生涯教育新人賞を受賞して	小林 健太
[案 内] 第91回新潟県臨床検査学会案内	
[研修会参加報告]	
下越支部研修会に参加して	高田祐紀子
上越支部研修会に参加して	小淵あすか
新潟支部研修会に参加して	細谷麻里子
佐渡支部研修会に参加して	仲村 友絵
神経生理検査セミナーに参加して	五十嵐孝子
臨床微生物部門研修会に参加して	千味 和宏
[認定技師制度紹介] 認定血液検査技師について	鈴木 秀幸
[ペンリレー]	山本 成美
[検査技師として～私の奮闘記～]	
検査技師として～私の奮闘記～	阿部 望
検査技師として～私の奮闘記～	高橋 直也
検査技師として～私の奮闘記～ 1年を振り返って	坂内 政紀
検査技師として～私の奮闘記～	上野 莉奈
検査技師として～私の奮闘記～	井沢 陽平
検査技師として～私の奮闘記～	古井 妙子
[会 報]	
平成28年度 第11回理事会議事録	
平成29年度 第1回理事会議事録	
平成29年度 第2回理事会議事録	
28年度 監査報告書	
28年度 公益目的支出計画実施報告書	
平成29年度第1回通常総会からアンケート回答	

新入会員紹介
新臨技会日誌
〔行事予定〕
〔編集後記〕

305号 平成29年10月1日

〔講 義〕 血液ガスデータの読み方
梅毒の最近の流行と知っておきたい基礎知識

横山 稔
須長 宏行

〔案 内〕 第91回新潟県臨床検査学会

〔研修会参加報告〕

下越支部研修会に参加して
新潟支部研修会に参加して
新潟支部臨床化学研修会に参加して
新潟病理技術研修会に参加して
生理検査基礎セミナーに参加して
輸血細胞治療部門 輸血検査実技講習会に参加して
輸血細胞治療部門 春の初心者研修会

安達 俊幸
宮路 渚
鶴間 純
宮下 真平
星 佳織
加藤 瑞希
高橋 周汰
小林 元康
井塚 翔
小熊 望

〔弔 辞〕 栗原貞次郎氏を偲んで

〔認定技師制度紹介〕 超音波検査士について

〔ペンリレー〕

〔検査技師として～私の奮闘記～〕

検査技師として～私の奮闘記～
検査技師として～私の奮闘記～
検査技師として～私の奮闘記～
検査技師として～私の奮闘記～
検査技師として～私の奮闘記～
検査技師として～私の奮闘記～
検査技師として～私の奮闘記～

鈴木 友紀
野澤 昂朗
山本 成美
高橋 彩佳
丸山 茜
白井 里奈
大坂 知代

〔会 報〕

平成29年度 第3回理事会議事録
平成29年度 第4回理事会議事録
平成29年度 第5回理事会議事録
新入会員紹介
新臨技会日誌

〔行事予定〕

306号 平成30年1月1日

〔あいさつ〕 年頭のご挨拶

渡邊 博昭

〔講 義〕 SOP を作成する意義
イムノアッセイの基礎と留意点

角山 功
木次 克彦

〔研修会参加報告〕

臨床検査総合部門 管理運営研修会に参加して

石塚 浩章

平成29年度染色体・遺伝子部門研修会に参加して	柳田 絵美衣
平成29年度超音波実技セミナーに参加して	披田野 翔平
平成29年度神経生理検査セミナーに参加して	島岡 愛
平成29年度超音波検査士対策セミナーに参加して	宮崎 勝吉
臨床生理部門超音波分野研修会心エコーセミナーに参加して	菅谷 望
〔公益活動参加報告〕	
ピンクリボンホリデー2017 in 長岡に参加して	関 俊輔
新潟市民健康福祉まつりに参加して	中川 智
第31回糖尿病を知る集いに参加して	桑原いみ子
無料 HbA1c 測定会に参加して	神林 真弓
平成29年度全国「検査と健康展」参加報告書	佐藤 卓
すこやか・ともしびまつり2017に参加して	草間 孝行
〔施設紹介〕 学校法人 新潟科学技術学園 新潟医療技術専門学校	湯本 正洋
〔認定技師制度紹介〕	
ICMT（感染制御認定臨床微生物検査技師）の紹介および体験談やアドバイス	高野 美菜
〔ペンリレー〕	澤渡 哲也
〔検査技師として～私の奮闘記～〕	
検査技師として～私の奮闘記～	本間 光
検査技師として～私の奮闘記～	宮沢 愛彩
検査技師として～私の奮闘記～	上野 唯
検査技師として～私の奮闘記～	加藤 史帆
私の奮闘記	三浦 千佳
私の奮闘記	小林 裕真
私の奮闘記	平野 綾佳
検査技師として～私の奮闘記～	小田 彩那
検査技師として～私の奮闘記～	川村 梨紗
〔会 報〕	
理事会議事録	
お詫びと訂正	
新入職員紹介	
新臨技会日誌	
〔行事予定〕	

2) 新臨技ニュース

佐藤 卓

理事会議事要旨、組織活動、研修会案内、求人情報など速報性・実用性のある情報を掲載してきた。また掲載情報の正確性・即時性を考慮し、可能な範囲で早く各施設に届くように努めてきた。発行は理事会終了後の月1回とした。

3) 新臨技ホームページ

近藤 善仁

新臨日ホームページは案内・各支部活動・各研究班活動がリアルタイムに閲覧でき好評である。日臨技からのお知らせやその他関連団体の情報および近隣技師会からの掲載も柔軟に対応した。精度管理事業の施設別報告値一覧は昨年同様 Web 上にて公開した。

【主要行動報告】

1. 平成29年 3月30日 会誌編集委員会開催
2. 平成29年 4月 6日 新潟医療技術専門学校入学式へ 桑原副会長出席
3. 平成29年 4月 6日 北里大学保健衛生専門学院入学式へ 坂西副会長出席
4. 平成29年 4月15日 第1回学術部門会議開催
5. 平成29年 4月15日 第1回理事会
6. 平成29年 4月16日 日臨技 H29年度第1回災害対策ワーキンググループへ 坂西副会長出席
7. 平成29年 4月29日 日臨技 H29年度第1回出版ワーキンググループへ 坂西副会長出席
8. 平成29年 5月11日 第1回表彰委員会
9. 平成29年 5月13日 第2回理事会
10. 平成29年 5月13日 第35回篠川至賞選考委員会 渡邊会長、吉原副会長、坂西副会長、桑原副会長、小柳事務局長出席
11. 平成29年 5月17日 法人化記念事業の打合せへ 吉原副会長、小柳事務局長出席
12. 平成29年 5月17日 平成28年度検査技師会監査
13. 平成29年 5月19日 平成29年度新潟栄養・食生活学会第1回役員会へ 渡邊会長出席
14. 平成29年 5月27日 総会および法人化記念事業
15. 平成29年 5月27日 第3回理事会
16. 平成29年 5月29日 健康寿命延伸にかかる多職種協働推進委員会へ 桑原副会長出席
17. 平成29年 6月10日 北日本支部幹事会（北海道）へ 渡邊会長出席
18. 平成29年 6月17日 新潟医療技術専門学校新校舎竣工式へ 渡邊会長出席
19. 平成29年 6月17日 第4回理事会
20. 平成29年 6月17日～18日 日臨技出版 WG（千葉県）へ 坂西副会長出席
21. 平成29年 6月23日 日臨技創立65周年・法人化55周年記念式典（東京都）へ 渡邊会長出席
22. 平成29年 6月24日 新潟県細胞検査士定期総会・研修会へ 渡邊会長出席
23. 平成29年 6月27日 新潟県健康づくり財団第15回定時評議員会へ 渡邊会長出席
24. 平成29年 6月29日 第1回会誌編集委員会開催
25. 平成29年 7月 7日 平成29年度東北臨床検査技師代表者会議（秋田県）へ 渡邊会長出席
26. 平成29年 7月10日 第9回新潟県救急搬送・受入協議会へ 渡辺前理事出席
27. 平成29年 7月15日 第5回理事会
28. 平成29年 7月16日 栗原名誉会員のお通夜へ 桑原副会長、草間理事、吉原監事参列
29. 平成29年 7月17日 栗原名誉会員の告別式へ 吉原監事参列
30. 平成29年 7月25日 第1回精度管理委員会
31. 平成29年 8月16日 全国検査と健康展の打合せへ 佐藤事務局次長、畔上理事出席
32. 平成29年 8月19日 日臨技災害対策 WG へ 坂西副会長出席
33. 平成29年 8月22日 健康寿命延伸フォーラムに関する打合せ会へ 桑原副会長出席
34. 平成29年 8月29日 ピンクリボン打合せへ 佐藤事務局次長、畔上理事、五十嵐理事出席
35. 平成29年 9月 9日 中越支部創立60周年記念式典へ 渡邊会長出席
36. 平成29年 9月10日 日臨技出版 WG へ 坂西副会長出席
37. 平成29年 9月23日 9月常任理事会
38. 平成29年10月 3日 樋口名誉会員のお通夜へ 渡邊会長参列
39. 平成29年10月 4日 第2回会誌編集委員会開催
40. 平成29年10月 8日 ピンクリボンホリデーにブース出展

41. 平成29年10月10日 糖尿病関連イベント打合せへ 佐藤事務局次長、畔上理事出席
42. 平成29年10月13日 北日本支部幹事会（秋田県）へ 桑原副会長出席
43. 平成29年10月13日 健康寿命延伸フォーラムに関する打合せ会へ 小柳事務局長出席
44. 平成29年10月21日 第6回理事会
45. 平成29年10月22日 日臨技認定救急検査技師 試験 WG へ 坂西副会長出席
46. 平成29年10月25日 第34回がん征圧新潟県大会へ 坂西副会長出席
47. 平成29年10月27日 第2回精度管理委員会
48. 平成29年10月28日 H29年度新潟県医師会設立記念大会へ 渡邊会長出席
49. 平成29年10月29日 第3回精度管理委員会
50. 平成29年11月11日 11月常任理事会
51. 平成29年11月14日 新潟はっぴー乳ライフ実行委員会へ 畔上理事、五十嵐理事出席
52. 平成29年11月25日 全国検査と健康展を開催
53. 平成29年11月26日 第4回精度管理委員会
54. 平成29年11月29日 平成29年度新潟県生活習慣病検診等管理指導協議会循環器等検診部会 渡邊会長出席
55. 平成29年12月2日 第7回理事会
56. 平成29年12月8日～10日 医療現場における職能向上のための臨床検査技師育成講習会へ 桑原副会長出席
57. 平成29年12月16日 第3回会誌編集委員会開催
58. 平成29年12月17日 第91回新潟県臨床検査学会
59. 平成29年12月17日 第5回精度管理委員会
60. 平成30年1月12日～14日 地域ニューリーダー育成研修会へ 五十嵐理事出席
61. 平成30年1月13日 第8回理事会
62. 平成30年1月15日 関連団体挨拶回りへ 渡邊会長、小柳事務局長出席
63. 平成30年1月20日 宮城県臨床検査技師会創立75周年・法人化30周年記念式典・祝賀会へ 桑原副会長出席
64. 平成30年1月20日 日臨技救急認定試験 WG へ 坂西副会長出席
65. 平成30年1月26日 新潟県臨床検査精度管理協議会へ 坂西副会長、草間理事出席
66. 平成30年1月27日 平成29年度新臨技災害対策研修会を開催
67. 平成30年2月17日 新潟支部総会へ 桑原副会長出席
68. 平成30年2月23日 平成29年度第2回北日本支部幹事会へ 渡邊会長出席
69. 平成30年2月24日 上越支部総会へ 桑原副会長出席
70. 平成30年2月25日 第9回理事会
71. 平成30年3月1日 平成29年度臨床検査精度管理調査検討会に坂西副会長、草間理事、清水理事出席
72. 平成30年3月3日 平成29年度下越支部総会に桑原副会長出席
73. 平成30年3月7日 新潟医療技術専門学校卒業式に桑原副会長出席
74. 平成30年3月14日 北里大学保健衛生専門学院卒業式に坂西副会長出席
75. 平成30年3月15日 新潟医療福祉大学卒業式に渡邊会長出席
76. 平成30年3月17日 第10回理事会
77. 平成30年3月23日 新潟大学医学部保健学科卒業式に阿部副会長出席
78. 平成30年3月24日 日臨技出版 WG に坂西副会長出席

事業報告に関わる附属明細書

事業報告を補足する事項はない。

平成29年度収支決算報告

貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	11,946,087	12,702,057	△ 755,970
前払金	57,840	0	57,840
流動資産合計	12,003,927	12,702,057	△ 698,130
2. 固定資産			
会館建設引当預金	15,268,000	15,268,000	0
共済基金	1,724,000	1,724,000	0
篠川至賞基金	11,103,891	11,103,423	468
固定資産合計	28,095,891	28,095,423	468
資産合計	40,099,818	40,797,480	△ 697,662
II. 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	8,112,000	8,021,000	91,000
流動負債合計	8,112,000	8,021,000	91,000
2. 固定負債	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	8,112,000	8,021,000	91,000
III. 正味財産の部			
一般正味財産	31,987,818	32,776,480	△ 788,662
(うち特定資産への充当額)	(28,095,891)	(28,095,423)	(468)
負債及び正味財産合計	40,099,818	40,797,480	△ 697,662

正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	8,807,500	8,748,500	59,000
正会員受取会費	7,507,500	7,408,500	99,000
賛助会員受取会費	1,300,000	1,340,000	△ 40,000
事業収益	3,318,000	1,896,750	1,421,250
参加費収益	2,148,000	1,216,750	931,250
会誌広告収益	1,170,000	680,000	490,000
受取補助金等	1,338,500	1,718,000	△ 379,500
受取民間助成金	1,338,500	1,718,000	△ 379,500
雑収益	756,810	126,997	629,813
受取利息	31,518	10,070	21,448
協賛金収益	518,823	3,612	515,211
雑収益	206,469	113,315	93,154
経常収益計	14,220,810	12,490,247	1,730,563
(2) 経常費用			0
事業費	8,497,911	7,178,495	1,319,416
学会費	879,581	0	879,581
運営費	0	697,140	△ 697,140
学術部活動費	2,102,190	1,995,275	106,915
学術雑費	87,660	105,481	△ 17,821
臨床検査精度保証費	419,045	443,300	△ 24,255
会誌発行費	2,848,687	1,951,017	897,670
広報編集費	365,894	359,060	6,834
組織広報費	1,063,787	889,975	173,812
災害対策費	71,000	0	71,000
生涯教育表彰事業費	158,177	235,357	△ 77,180
組織強化費	501,890	501,890	0
管理費	6,511,561	4,891,666	1,619,895
備品費	0	0	0
消耗品費	106,885	100,739	6,146
印刷費	502,160	459,689	42,471
通信費	430,719	340,764	89,955
交通費	217,350	49,162	168,188
渉外対策費	247,400	338,970	△ 91,570
給料手当	644,000	619,000	25,000
会議旅費	1,304,320	1,225,340	78,980
事務所維持管理費	1,294,954	1,222,760	72,194

電話費	79,729	95,744	△ 16,015
事務所雑費	2,080	10,725	△ 8,645
交際費	146,557	24,570	121,987
総会費	205,432	47,803	157,629
法人化記念事業費	1,329,975	0	1,329,975
雑費	0	356,400	△ 356,400
経常費用計	15,009,472	12,070,161	2,939,311
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 788,662	420,086	△ 1,208,748
基本財産評価損益等			
特定資産評価損益等			
投資有価証券損益等			
評価損益等計			
当期経常増減額	△ 788,662	420,086	△ 1,208,748
2. 経常外増減の部			
当期経常外増減額			
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額	△ 788,662	420,086	△ 1,208,748
一般正味財産期首残高	32,776,480	32,356,394	420,086
一般正味財産期末残高	31,987,818	32,776,480	△ 788,662
II 指定正味財産増減の部			
III 正味財産期末残高	31,987,818	32,776,480	△ 788,662

正味財産増減計算書内訳表
平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科 目	実施事業等会計					その他会計					法人会計	内部取引 消去	合計	
	検査学会 研修費	臨床検査 精度保証費	広報費	共通	小計	生涯教育 表彰事業費	組織 強化費	その他	共通	小計				
I 一般正味財産増減の部														
1. 経常増減の部														
(1) 経常収益														
受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,807,500	0	8,807,500	
正会員受取会費					0					0	7,507,500		7,507,500	
賛助会員受取会費					0					0	1,300,000		1,300,000	
事業収益	2,148,000	0	1,170,000	0	3,318,000	0	0	0	0	0	0	0	3,318,000	
参加費収益	2,148,000				2,148,000					0	0		2,148,000	
会誌広告収益			1,170,000		1,170,000					0	0		1,170,000	
受取補助金等	1,138,500	200,000	0	0	1,338,500	0	0	0	0	0	0	0	1,338,500	
受取民間助成金	1,138,500	200,000			1,338,500					0	0		1,338,500	
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	756,810	0	756,810	
受取利息					0					0	31,518		31,518	
協賛金収益					0					0	518,823		518,823	
雑収益					0					0	206,469		206,469	
経常収益計	3,286,500	200,000	1,170,000	0	4,656,500	0	0	0	0	0	9,564,310	0	14,220,810	
(2) 経常費用														
事業費	3,069,431	419,045	4,349,368	0	7,837,844	158,177	501,890	0	0	660,067		0	8,497,911	
学会費	879,581				879,581					0			879,581	
運営費	0				0					0			0	
学術部活動費	2,102,190				2,102,190					0			2,102,190	
学術雑費	87,660				87,660					0			87,660	
臨床検査精度保証費		419,045			419,045					0			419,045	
会誌発行費			2,848,687		2,848,687					0			2,848,687	
広報編集費			365,894		365,894					0			365,894	
組織公報費			1,063,787		1,063,787					0			1,063,787	
災害対策費			71,000		71,000					0			71,000	
生涯教育表彰事業費					0	158,177				158,177			158,177	
組織強化費					0		501,890			501,890			501,890	
管理費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,511,561		6,511,561	
備品費										0	0		0	
消耗品費										0	106,885		106,885	
印刷費										0	502,160		502,160	
通信費										0	430,719		430,719	
交通費										0	217,350		217,350	
渉外対策費										0	247,400		247,400	
給料手当										0	644,000		644,000	
会議旅費										0	1,304,320		1,304,320	
事務所維持管理費										0	1,294,954		1,294,954	
電話費										0	79,729		79,729	
事務所雑費										0	2,080		2,080	
交際費										0	146,557		146,557	
総会費										0	205,432		205,432	
法人化記念事業費										0	1,329,975		1,329,975	
雑費										0	0		0	
経常費用計	3,069,431	419,045	4,349,368	0	7,837,844	158,177	501,890	0	0	660,067	6,511,561	0	15,009,472	
評価損益等調整前当期経常増減額	217,069	△219,045	△3,179,368	0	△3,181,344	△158,177	△501,890	0	0	△660,067	3,052,749	0	△788,662	
基本財産評価損益等					0					0			0	
特定資産評価損益等					0					0			0	
投資有価証券評価損益等					0					0			0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	217,069	△219,045	△3,179,368	0	△3,181,344	△158,177	△501,890	0	0	△660,067	3,052,749	0	△788,662	
2. 経常外増減の部														
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	
他会計振替額					0					0			0	
当期一般正味財産増減額	217,069	△219,045	△3,179,368	0	△3,181,344	△158,177	△501,890	0	0	△660,067	3,052,749	0	△788,662	
一般正味財産期首残高					0					0			32,776,480	
一般正味財産期末残高												0	31,987,818	
II 指定正味財産増減の部														
III 正味財産期末残高													31,987,818	

財 産 目 録

平成30年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
I. 資産の部	
1. 流動資産	
現金	322,342
普通預金	
第四銀行臨港支店	11,551,777
ゆうちょ銀行	71,968
前払金	57,840
流動資産合計	12,003,927
2. 固定資産	
会館建設引当預金	
第四銀行臨港支店（定期）	10,000,000
ゆうちょ銀行（定額5口）	5,268,000
共済基金	
ゆうちょ銀行（定額3口）	1,724,000
篠川至賞基金	
北越銀行県庁支店（定期）	5,002,891
ゆうちょ銀行（定額3口）	6,101,000
固定資産合計	28,095,891
資産合計	40,099,818
II. 負債の部	
1. 流動負債	
前受金 H30年度新臨技会費	8,112,000
流動負債合計	
2. 固定負債	0
固定負債合計	0
負債合計	8,112,000
正味財産	31,987,818

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小 計	-	-	-	-
特定資産				
会館建設引当預金	15,268,000	-		15,268,000
共済基金	1,724,000	-		1,724,000
篠川至賞基金	11,103,423	468		11,103,891
小 計	28,095,423	468		28,095,891
合 計	28,095,423	468		28,095,891

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
小 計	-	-	(-)	-
特定資産				
会館建設引当預金	15,268,000	-	(15,268,000)	-
共済基金	1,724,000	-	(1,724,000)	-
篠川至賞基金	11,103,891	-	(11,103,891)	-
小 計	28,095,891	-	(28,095,891)	(-)
合 計	28,095,891	-	(28,095,891)	(-)

4. 助成金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

助成金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助成金						
受取検査学会研修助成金	日本臨床衛生検査技師会	0	1,138,500	1,138,500	0	
受取臨床検査精度保証助成金	新潟県医師会	0	200,000	200,000	0	
合 計		0	1,338,500	1,338,500	0	

計算書類に係わる附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記2「基本財産及び特定資産の増減及びその残高」及び注記3「基本財産及び特定資産の財源等の内訳」に記載しているため省略する。

【上越支部】

支部研修会

1 秋季研修会：第109回上越支部研修会（生涯教育認定 専門20 参加27名）

日時：平成29年9月30日（土）上越市 市民プラザ 第3会議室

講演1 「ストレスチェックが元気な職場づくりの第一歩」

～ストレスチェック制度のポイント、その効果と課題～

独立行政法人 労働者健康安全機構 新潟産業保健総合支援センター 百都 礼子 先生

講演2 「職場におけるメンタルヘルスについて考える」

上越基幹相談支援センター 丸山ひろみ 先生

2 春季研修会：第110回上越支部研修会（生涯教育認定 専門20 参加43名）

日時：平成30年2月24日（土）高陽荘

講演1 「代謝性骨疾患について～ビタミンDを中心に～」

ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社 岩橋 伸剛 先生

講演2 「2025年問題について」

シーメンスヘルケア株式会社 井上 雅章 先生

講演3 「日臨技の進める臨床検査技師の医療現場における職能向上にむけた講習」

新潟県臨床検査技師会 桑原喜久男 副会長

研究班活動

1 検体研究班（生涯教育認定 専門20 参加14名）

日時：平成29年8月1日（火）会場：けいなん総合病院2階講義室

「脂質異常症と最近の話題」

株式会社積水メディカル 須長 宏行 先生

2 形態検査研究班（生涯教育認定 専門20 参加22名）

日時：平成29年9月8日（金）会場：県立中央病院 講堂

「新しく発表されたDIC診断基準を活用した凝固検査の基礎知識」

株式会社積水メディカル 須長 宏行 先生

3 生理検査研究班（生涯教育認定 専門20 参加31名）

日時：平成29年10月26日（木）会場：新潟労災病院会議室

「パセラで検査できるCAVI/ABIの計測値と注意点」

㈱フクダ電子 血管予防営業課 鈴木 恒生 先生

4 地域保健活動

- ・第53回糖尿病内分泌研究会

日時：平成29年8月1日 会場：上越市民プラザ 参加5名

- ・第54回糖尿病内分泌研究会

日時：平成30年3月23日 会場：上越市民プラザ

平成29年度通常総会（生涯教育認定 基礎30 参加36名 委任状83名）

平成30年2月24日（土）高陽荘

内容：平成29年度活動報告および会計報告

平成30年度事業計画および予算

役員会議

2017年（平成29年）

4月27日（木）定例役員会

5月25日（木）定例役員会（拡大）

- 6月23日（金） 定例役員会
 8月24日（木） 定例役員会
 9月28日（木） 定例役員会
 10月23日（月） 定例役員会
 11月30日（木） 定例役員会
 2018年（平成30年）
 1月25日（木） 定例役員会
 2月22日（木） 定例役員会
 3月28日（水） 定例役員会
 *計9回役員会議開催

【中越支部】

<研修会>

- 1) 平成29年度中越支部講演会（生涯教育認定 基礎20 参加71名）

日時：平成29年2月18日（土）14：00～16：30

場所：立川総合病院 講堂

- ・講演：「臨床検査技師に求められるチーム力推進と医療安全

～チーム STEPPS によるチームトレーニング～」

講師 医療法人 立川メディカルセンター 看護部長 樋口 敦子 先生

- ・施設見学：立川総合病院

- 2) 中越支部フォーラム（生涯教育認定 基礎20 参加者40名）

日時：平成29年9月9日（土）14：00～19：00

場所：パストラル長岡

講演1 「病棟業務への取り組みについて」

講師 かしま病院 医療情報部 柴田 昭浩 技師

講演2 「尿沈査スライドカンファレンス」

講師 済生会新潟第二病院 小野 篤史 技師

支部発足60周年記念式典・祝賀会・支部功労者表彰（参加者 63名）

参加費 会員 2,000円 非会員 7,000円

- 3) 中越支部ふれあい研修会（生涯教育認定 基礎20 参加36名）

日時：平成29年11月18日（土）14：00～16：30

場所：立川総合病院 講堂

テーマ1 「認知症領域検査について」

講師 JA 新潟厚生連小千谷総合病院 寺島 健 技師

テーマ2 「R-CPC ～検査データの見かた～」

講師 新潟医療技術専門学校 伊藤 正行 技師

<記念事業>

中越支部発足60周年記念事業

日時：平成29年9月9日（土）17：00～19：00

場所：パストラル長岡

支部発足60周年記念式典・祝賀会・支部功労者表彰（参加者 63名）

<公益事業>

- 1) 父の日企画「家族で守ろうパパの健康チェック」(参加ボランティア技師 14名)

日時：平成29年6月18日(日) 11:00~15:30

場所：リバーサイド千秋

主催：ヘルシープラン21実行委員会・長岡市福祉保健部健康課

会場来場者に血糖測定及びCO測定…60名

- 2) すこやかとしびまつり 2017(参加ボランティア技師 26名)

日時：平成29年9月16日(土)・17日(日) 両日10:00~16:00

場所：アオーレ長岡 一般市民来場者 2日間 21,500名

主催：長岡市

肺年齢測定…800名

- 3) 糖尿病を知るつどい 2017(参加ボランティア技師 7名)

日時：平成29年10月21日(土) 12:00~16:00

場所：長岡リリックホール(シアター) 来場者 360名

主催：長岡市医師会

血糖値測定 200名

- 4) 世界糖尿病 DAY in 長岡 2017(参加ボランティア技師 11名)

日時：平成29年11月3日(金・祝) 11:00~16:00

場所：アオーレ長岡

主催：長岡市医師会

血糖・HbA1c測定 90名

<通常総会>

平成29年度中越支部通常総会(参加 47名)

日時：平成29年2月18日(土) 16:30~17:30

場所：立川総合病院 3F講堂

<支部理事会>

第1回理事会	平成29年4月27日(木) 18:30~	長岡赤十字病院	会議室
第2回理事会	平成29年5月25日(木) 18:30~	長岡赤十字病院	会議室
第3回理事会	平成29年6月22日(木) 18:30~	長岡赤十字病院	会議室
第4回理事会	平成29年7月27日(木) 18:30~	長岡赤十字病院	会議室
第5回理事会	平成29年8月24日(木) 18:30~	長岡赤十字病院	会議室
第6回理事会	平成29年9月28日(木) 18:30~	長岡赤十字病院	会議室
第7回理事会	平成29年10月26日(木) 18:30~	長岡赤十字病院	会議室
第8回理事会	平成29年11月22日(水) 18:30~	長岡赤十字病院	会議室
第9回理事会	平成30年2月2日(金) 18:30~	長岡赤十字病院	会議室
第10回理事会	平成30年2月22日(木) 18:30~	長岡赤十字病院	会議室

【下越支部】

<研修会等>

- (1) 第1回支部研修会

日時：平成29年7月22日(土) 14:00~16:30

場所：(一財)下越総合健康開発センター 2階 大講堂

内容：「今さら聞けない検査の基本2017」

- | | | |
|----------|-----------------|----------|
| ① 生理部門 | 講師 済生会三条病院 | 桑原喜久男 技師 |
| ② 輸血部門 | 講師 県立新発田病院 | 高橋 一哲 技師 |
| ③ 臨床化学部門 | 講師 下越総合健康開発センター | 高口 功 技師 |

参加者：48名（会員40名）

生涯教育認定 基礎20点

(2) 第2回支部研修会

日時：平成29年12月2日（土）14：00～16：30

場所：（一財）下越総合健康開発センター 2階 大講堂

内容：1. 「知っておきたい糖尿病と SMBG の基礎知識～自己血糖測定器の使い方～」
2. 「歯周病と糖尿病の関わり～唾液を用いた口腔内の環境チェック～」

講師 アークレイマーケティング株式会社 神農 祐樹 先生

参加者：24名（会員16名）

生涯教育認定 基礎20点

(3) 第3回支部研修会および総会

日時：平成30年3月3日（土）14：00～17：00

場所：（一財）下越総合健康開発センター 2階 大講堂

内容：1. 「日臨技の進める臨床検査技師の医療現場における職能向上に向けた講習」

講師 済生会三条病院 桑原喜久男 技師

2. 「病院を取り巻く採血環境」

- ① 針刺し、血液暴露事例（ビデオ）
- ② 病院を取り巻く環境
- ③ safety への取り組み（事例）
- ④ 実習 ～採血分注安全器材と翼状針～

講師 日本ベクトンディッキンソン株式会社 石井 一禎 先生

参加者：50名（会員35名）

生涯教育認定 基礎20点

内容：「下越支部通常総会」

参加者：22名

生涯教育認定 基礎30点

<下越支部役員会>

今年度は、支部研修会打合せ等で5回開催した。

- | | | |
|--------|----------------------|--------------|
| 第1回理事会 | 平成29年4月20日（木）16：00～ | 下越総合健康開発センター |
| 第2回理事会 | 平成29年6月28日（水）16：00～ | 下越総合健康開発センター |
| 第3回理事会 | 平成29年8月17日（木）16：00～ | 下越総合健康開発センター |
| 第4回理事会 | 平成29年11月21日（火）16：00～ | 下越総合健康開発センター |
| 第5回理事会 | 平成30年2月15日（木）16：00～ | 下越総合健康開発センター |

【佐渡支部】

< 学術活動 >

1) 研修会 (専門-20)

日時 平成29年6月24日(土) 13時30分～(受付 13時～)

会場 佐渡総合病院 講堂

内容 1. 講演「体腔液検査と自動化における最近の話題」

講師 シスメックス株式会社 北関東支店 学術サポート課 林 文明 先生

2. 特別講演

第一部「気が付かなかった尿沈渣成分に遭遇する鏡検法」

第二部「確実にレベルアップする尿沈渣成分の簡単な鑑別法」

講師 東京大学医学部附属病院 検査部 副技師長 宿谷 賢一 先生

座長 新潟大学医歯学総合病院 検査部 斎藤 温 先生

新潟大学医歯学総合病院 検査部主任 堀川 良則 先生

2) 支部総会

日時 平成30年3月3日(土) 14時～(受付 13時30分～)

会場 佐渡総合病院 講堂

内容 1. 学術講演(専門-20)

1) 「夜間当直者と若手検査技師のための血液検査の基礎知識」

講師 積水メディカル株式会社 学術担当 須長 宏行 先生

座長 羽茂病院 山田 将也

2) 「オージオメーターの使い方講習会」

講師 リオン株式会社 石川 智浩 先生

座長 佐渡総合病院 斎藤 桂子

2. 平成29年度佐渡支部総会(基礎-30)

< 平成29年度生涯教育履修報告 >

1) 平成29年6月24日(土) 佐渡支部研修会「ユリナリシスセミナー2017 in 佐渡」

生涯教育ポイント 専門20点 会員参加 31名(非会員1名)

2) 平成29年11月12日(日) 佐渡支部公益事業「世界糖尿病デー in 佐渡」

生涯教育ポイント 基礎20点 会員参加 5名

3) 平成30年3月3日(土) 佐渡支部研修会

生涯教育ポイント 専門20点 会員参加 24名

4) 平成30年3月3日(土) 佐渡支部総会「平成29年度佐渡支部総会」

生涯教育ポイント 基礎30点 会員参加 24名

< 佐渡支部役員会 >

1) 平成29年5月10日

2) 平成29年9月26日

3) 平成30年1月15日

【新潟支部】

< 研修会 >

【平成28年度第2回新潟支部研修会】2017/02/19

参加人数: 57名

① 糖尿病の予防・治療における看護師の役割

西山 陽子 (済生会新潟第二病院)

② 採血現場を中心とした接遇の考え方や採血管の取扱い注意点

安倍 夏生 (極東製薬工業株式会社)

【平成29年度第1回新潟支部研修会】2017/07/29

参加人数：69名

① 日当直時における緊急検査の異常値、パニック値への対応

西江 良介 (済生会新潟第二病院)

味方 憲人 (木戸病院)

田端 篤 (信楽園病院)

高橋佳菜子 (新潟大学医歯学総合病院)

三富 圭 (厚生連新潟医療センター)

② 安全な採血業務

佐竹紀代美 (新潟大学医歯学総合病院)

(臨床化学研究班)

【第7回新潟支部臨床化学班研修会】2017/07/30

参加人数：33名

① 広がっている梅毒と免疫検査

中島 俊彦 (アボットジャパン株式会社)

② 梅毒の最近の流行と知っておきたい基礎知識

須長 宏之 (積水メディカル株式会社)

【第8回新潟支部臨床化学班研修会】2018/01/27

参加人数：21名

① ISO15189の概要と最近のトピックス

猪俣 記一 (シスメックス株式会社)

② ISO15189認定の取得に向けた生化学・免疫検査室の取り組み：新潟大学病院での経験

松田 将門 (新潟大学医歯学総合病院)

③ ISO15189認定継続について

後藤亜友美 (新潟ウェルネス)

(血液研究班)

活動実績なし

(生理研究班)

【平成28年度神経生理セミナー】(新臨技生理部門共催) 2017/03/18

参加人数：63名

① 脳波計のABC

齋藤 昌伸 (日本光電北関東株)

② 脳波の電極装着から記録法

柳田 浩巳 (自治医科大学付属病院)

③ 脳波波形の見方と報告

杉山 邦男 (東邦大学医療センター大森病院)

(一般検査研究班)

【第41回新潟支部一般検査研修会】2017/09/08

参加人数：44名

① スライドカンファレンス

白川千恵子 (新潟医療技術専門学校)

② 尿沈渣標本作成から鏡検まで

白川千恵子 (新潟医療技術専門学校)

③ 尿沈渣検査のピットフォール～血球編～

小野 篤史 (済生会新潟第二病院)

(病理技術研究班)

【第39回新潟病理技術研究会】(新臨技病理部門共催)2017/07/22

参加人数：46名

① 病理検査室の環境整備に必要な知識と最近の法改正

久保田征広 (㈱トルネックス)

② 病理検査室のホルマリンガス対策と廃棄方法

川口裕貴恵 (新潟大学医歯学総合病院)

佐藤 信 (立川総合病院)

徳永 直樹 (新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院)

③ 標本づくりへのこだわり～質の向上とアーティファクト～

菅原 勲 (石巻赤十字病院)

(微生物検査研究班)

【第127回新潟支部微生物研究会】2017/04/20

参加人数：28名

グラム染色について

本間 康夫 (信楽園病院)

【第128回新潟支部微生物研究会】2017/11/16

参加人数：17名

① 試験管培地を用いた腸内細菌の同定

新井 正啓 (栄研化学株式会社)

② NSB の会

新潟支部微生物研究会 世話人一同

<公益活動、その他>

【平成29年一般社団法人新潟県臨床検査技師会新潟支部総会】2017/02/19

参加人数：39名

【第20回新潟市民健康福祉まつり 健康ひろば】2017/10/15

参加人数：8名

<総会及び幹事会>

1) 支部定期総会・第1回 新潟支部幹事会

平成29年2月19日(日) 新潟大学医歯学総合病院 12階大会議室

2) 第2回 新潟支部幹事会

平成29年3月15日(水) 18:30～ 新潟県臨床検査技師会事務所

3) 第3回 新潟支部幹事会

- 平成29年 4月12日(水) 18:30～ 新潟県臨床検査技師会事務所
- 4) 第4回 新潟支部幹事会
平成29年 5月10日(水) 18:30～ 新潟県臨床検査技師会事務所
- 5) 第5回 新潟支部幹事会
平成29年 6月14日(水) 18:30～ 新潟県臨床検査技師会事務所
- 6) 第6回 新潟支部幹事会
平成29年 7月26日(水) 18:30～ 新潟県臨床検査技師会事務所
- 7) 第7回 新潟支部幹事会
平成29年 9月13日(水) 18:30～ 新潟県臨床検査技師会事務所
- 8) 第8回 新潟支部幹事会
平成29年10月11日(水) 18:30～ 新潟県臨床検査技師会事務所
- 9) 第9回 新潟支部幹事会
平成29年11月15日(水) 18:30～ 新潟県臨床検査技師会事務所
- 10) 第10回 新潟支部幹事会
平成29年12月13日(水) 18:30～ 新潟県臨床検査技師会事務所
- 11) 第11回 新潟支部幹事会
平成30年 1月10日(水) 18:30～ 新潟県臨床検査技師会事務所
- 12) 第12回 新潟支部幹事会
平成30年 2月14日(水) 18:30～ 新潟県臨床検査技師会事務所

一般社団法人新潟県臨床検査技師会
平成30年度事業計画

会長

渡邊 博昭

平成30年度は役員任期後期であり、基本的には事業をそのまま引き継ぎ、とどこおりなく会務を遂行する。新規または重要な事業を下記の通り計画する。

総務部

- ① 引き続き一般社団法人移行に伴っての問題点を検証する。
- ② 引き続き新しい規定および手順書の検証をする。

学術部

- ① 第92回新潟県臨床検査学会の企画・運営を行う。
- ② ニュージーリーダーの育成や職能向上・職能開発に関わる講習会を開催する。
- ③ 検査研究部門活動の助成金申請を20研修会申請する。

広報部

- ① ホームページのさらなる充実を図る。

1. 会務の執行体制

平成30年度は役員任期後期にあたり、円滑な業務運営を進めるうえで、各種規定・マニュアル等を基本に技師会業務の運営に努めたい。

また、活動の要である事務局機能は、各県技師会および日臨技との連絡・調整の場として、更なる会員サービスの向上に努めたい。組織強化の面からは、日臨技、北日本支部、新臨技支部、会員各位と協力しながら情報交換を図り、一人でも多くの会員から技師会の意義を感じ取ってもらえる環境・体制を整えたい。

2. 諸会議

1) 理事会・常任理事会

会議の招集、運営が非常に厳しい状況ではあるが、連携を密にするためにも、会議時間の短縮や運営方法を再検討しながら、総会に次ぐ議決機関として年12回（理事会・常任理事会）を開催したい。

2) 三役会議・各部会議

諸会議の立案や各種業務内容の検討・調整を図るため、必要に応じて適宜開催する。

3) 各種委員会

本会活動の要としての役割を担っており、本年度も更に活発に運営して行きたい。

災害支援マニュアルにある災害支援メーリングリストは、災害時の支援活動や会員の安否確認に威力を発揮できるものであり、会員登録者を増やしていきたい。

3. 組織対策

1) 臨床検査セミナー

通常総会と同時開催する臨床検査セミナーは、技師会事業として定着している。最新の医療トピックスや臨床検査技師の卒後教育等の内容で企画し、自己研鑽の場として今後も積極的に開催していきたい。

2) 各支部との連携

各支部持ち回りの新潟県臨床検査学会開催については、会場確保および参加人数等の問題もあり、第91回から新潟市で開催することとした。これにより、更なる学術部と支部との連携を強化するとともに、より多くの会員参加を募り、本会の事業方針の展開と臨床検査の発展を目指したい。

3) 入会対策

益々厳しくなる医療情勢ではあるが、職能団体としての機能をさらに発揮するためには組織拡大と成熟が重要であり、各支部、各施設の理解と協力を得ながら新入会員を確保して行きたい。

また、臨床検査技師のさらなる地位向上および職域拡大を進めるためにも、臨床検査技師連盟への入会促進に積極的に働きかけていく。

4. 公益活動（地域保健医療活動）

一般社団法人として、県民の保健・医療・公衆衛生の更なる向上を目指すべく、臨床検査技師の社会貢献に取り組み、日臨技の事業および学会時の公開講演や健康展、関連職種団体との連携強化を進め、本年度も地域保健医療活動に積極的に参画して行く。

5. 求人情報の提供

求人情報の提供として日臨技への情報登録に留め、会員へは新臨技ニュースやホームページ等で求人情報を提供したい。

6. 表彰関係

1) 篠川至賞

平成30年度で第36回となる篠川至賞は、その制定主旨により、各支部からの推薦者の中より篠川至賞選考委員会の審査を経て表彰されるものであり、会員の励みにもなっている。検査研究部門からも情報協力いただき、各支部からの積極的な推薦のうえ表彰する。

2) 会長表彰

特別功労表彰、永年会員功労表彰は、新臨技表彰規定に基づき、それぞれの基準に該当する者について表彰委員会の審査を経て、毎年の通常総会において表彰する。

3) 生涯教育奨励賞

多くの会員の生涯教育および学術活動への参画と活性化を求め、分野に関わらず最多得点者の上位3名を表彰する。

4) 生涯教育新人賞

臨床検査教育の場としての研修会等への参加を通じ、更なる技師会活動への参画に期待し、分野に関わらず20代会員の最多得点修了者を表彰する。

学術部

副会長 桑原 喜久男

平成30年度活動計画

第92回新潟県臨床検査学会を10月28日、朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターにて開催する。多くの会員、特に若手技師会から一般演題発表をお願いしたい。検査研究部門は新潟県臨床検査学会において教育セミナー等の企画、運営を担当いただく。精度管理は日臨技のシステムを用いて新臨技 HP にて結果の閲覧等、事務手続き等の簡素化を進めたい。日臨技の生涯教育推進事業は20研修会の申請を目指して活動を行う。日臨技が進める各種講習会の開催準備を進める。

1. 学会

桑原 喜久男

第92回新潟県臨床検査学会を10月28日（日）、朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターを会場に開催する。一般演題を多くの会員からご発表いただけるようお願いしたい。特に若手技師から多くの一般演題発表をお願いしたい。一般演題発表に向けた、準備、手順、プレゼンテーションを経験していただき、北日本支部学会、日本医学検査学会へとその発表の場を広げていけるように努めていただきたい。学会ではレクチャーは勿論、検査技師を取り巻く環境、社会情勢を踏まえて私たちが向かうべき方向性を学べる機会を提供したいと考える。

2. 検査研究部門

中村 岳史

検査研究部門の各部門分野が企画運営する各種研修会は、技師会における重要な活動の一つであり、日進月歩の医療現場において、新たな知識や技術を日々の業務に反映させることは極めて重要である。それらを習得するための検査研究部門が企画運営する各種研修会が担う役割は非常に大きい。

検査研究部門は、生物化学分析部門、臨床一般部門、臨床血液部門、臨床微生物部門、輸血細胞治療部門、病理細胞部門、染色体・遺伝子部門、臨床生理部門（神経生理分野、呼吸・循環生理分野、超音波分野）、臨床検査総合部門の9部門3分野で構成され、研修会の内容は、若手技師向けの基礎的内容から専門性を高める内容、認定資格取得教育など、様々な状況にある会員に有益な研修会をバランスよく開催できるよう体制を整備し、企画運営にあたる。また、講演に加えて、実習形式による研修会を推進し、知識面・技術面の両側面でのレベルアップを目指した研修会の企画を奨励する。技術や知識が複数の分野に係る内容に関しては、複数部門での合同研修会を企画するなど各研究部門が協力することで、幅広い知識や技術を習得できるよう、会員にとって魅力ある学術活動を目指したい。

3. 精度管理事業

坂西 清

本事業は新潟県医師会が新潟県から委託を受け、新潟県臨床検査精度管理協議会を設置して推進している事業である。本会としては、地域医療への貢献と会員の技術向上という点から重要な事業であるという位置づけ

で本年度も積極的に協力していく。

本年度も臨床化学、微生物、血球計算、一般フォトサーベイをさらに充実させ実施を予定している。平成19年度より日臨技データ標準化事業がスタートし、それを踏まえ実施項目を増やし、標準物質が入手可能な項目については随時評価を行ってきたが、本年度もそれらに努めたい。

日臨技の臨床検査室精度保証認証制度・共用基準範囲についても多くの施設の理解が得られるよう啓発を進めていきたい。

4. 生涯教育

近藤 善仁

生涯教育研修制度は、臨床検査技師の知識や技術水準の維持・向上を目的とし、会員の自発的な学習を組織的に援助する制度である。会員は定められた履修期間・カリキュラムを基に履修点数を取得する。また、ボランティア活動や臨床検査の普及のための啓発活動などに対して生涯教育行事登録を行い、活動を支援していく。「生涯教育推進研修会助成金」の申請が分かりにくく不採用になる研修会もあったため、担当者の負担軽減を図り、確実な助成金受領の支援を行っていく。

広報部

副会長 坂西 清

今年度も新臨技会誌、新臨技ニュース、新臨技ホームページの3本柱での運営を通して全会員へ向けたレスポンスの良い情報を例年通り安定提供したい。また、ホームページの情報発信においては規律ある運用の中で会員に有用な情報をいち早く提供していきたい。また会誌においては様々な企画を取り入れながらも学術重視の会誌を目指していきたい。県理事、各支部理事、会員全員で情報の共有化を尚一層強化するためにも、新臨技会誌、新臨技ニュース、新臨技ホームページを充実させていきたい。

1) 新臨技会誌

神林 真弓

会誌発行は307号から310号までの年4回季刊発行を予定する。

〔講義・研究〕は多分野に渡り基礎的内容から最新のトピックスに焦点を当てて掲載していきたい。

〔研修会参加報告〕は参加会員の協力により引き続き掲載し、情報提供や会員の研鑽の頁としたい。

〔ペンリレー〕〔新入会員紹介〕〔検査技師として～私の奮闘記～〕の掲載により会員同士の親睦をはかり、多くの方が参加できる企画を増やしたい。

〔公益活動報告〕は多くの会員に公益活動の重要性を知っていただき、ボランティア活動にも参加していただけるような内容にしたい。

〔認定検査技師制度〕はこれから認定を取得しようとしている多くの会員のスキルアップを、認定取得者からの経験談やアドバイスを掲載することで支援していきたい。

〔施設紹介〕は臨床検査技師の活躍の場をあらゆる施設から紹介していきたい。

また、昨年度企画した、初めて学会発表した会員に感想を含め報告書を執筆していただく〔学会参加報告〕は、今年度も継続していきたい。

2) 新臨技ニュース

佐藤 卓

理事会議事録、組織活動、研修会案内、求人情報など速報性・実用性のある内容を掲載していきたい。また、今後も広く会員に読まれるような読みやすいレイアウトを心がけるように、工夫していきたい。発行は月1回とし、理事会終了後、速やかに発行できるよう努めたい。

新臨技ホームページは、案内・各支部活動・各研究班活動の内容がリアルタイムに閲覧できることより、多くの会員から好評を得ている。今後も有意義な情報提供ができるよう新規コンテンツなどを検討して活発な運用を目指していく。また、当技師会は、大規模災害に備え災害時緊急連絡システム（メーリングリスト）を構築しているが、登録者が伸び悩んでおり会員の10%にも満たない現状である。引き続き一人でも多くの会員の登録をお願いする。（詳細は新臨技ホームページ参照）

平成30年度収支予算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	8,705,000	8,430,000	275,000	
正会員受取会費	7,425,000	7,150,000	275,000	1350名×5500
賛助会員受取会費	1,280,000	1,280,000	0	64社
事業収益	2,400,000	3,800,000	△ 1,400,000	
参加費収益	1,800,000	2,800,000	△ 1,000,000	学会参加費300名×2000、検査研究部門参加費
会誌広告収益	600,000	1,000,000	△ 400,000	会誌広告
受取補助金等	1,200,000	1,200,000	0	
受取民間助成金	1,200,000	1,200,000	0	日臨技、県医師会
雑収益	205,000	205,000	0	
受取利息	5,000	5,000	0	
協賛金収益	100,000	100,000	0	学会展示
雑収益	100,000	100,000	0	祝儀等
経常収益計	12,510,000	13,635,000	△ 1,125,000	
(2) 経常費用				
事業費	10,170,000	10,170,000	0	
学会費	1,000,000	1,000,000	0	第92回新潟県学会
運営費	1,000,000	1,000,000	0	臨床検査セミナー
学術部活動費	2,500,000	2,500,000	0	研究部門活動費
学術雑費	120,000	120,000	0	源泉徴収税等
臨床検査精度保証費	450,000	450,000	0	新潟県精度管理事業
会誌発行費	2,600,000	2,800,000	△ 200,000	会誌4号、会誌発行
広報編集費	700,000	700,000	0	広報委員会、HP維持管理費
組織公報費	900,000	700,000	200,000	各支部公益事業負担
災害対策費	200,000	200,000	0	
生涯教育表彰事業費	100,000	100,000	0	賞状作成費等
組織強化費	600,000	600,000	0	各支部助成金
管理費	6,130,000	8,130,000	△ 2,000,000	
備品費	200,000	200,000	0	
消耗品費	100,000	100,000	0	文房具、封筒
印刷費	600,000	600,000	0	各種案内
通信費	700,000	700,000	0	案内発送
交通費	350,000	350,000	0	日臨技、北日本会議
渉外対策費	300,000	300,000	0	関連団体、支部対策
給料手当	650,000	650,000	0	事務職員
会議旅費	1,000,000	1,000,000	0	理事会旅費

事務所維持管理費	1,750,000	1,750,000	0	賃貸料、電気代
電話費	120,000	120,000	0	
事務所雑費	30,000	30,000	0	
交際費	150,000	150,000	0	関連団体慶弔費
総会費	150,000	150,000	0	
法人化記念事業費	0	2,000,000	△ 2,000,000	
雑費	30,000	30,000	0	
経常費用計	16,300,000	18,300,000	△ 2,000,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,790,000	△ 4,665,000	875,000	
基本財産評価損益等				
特定資産評価損益等				
投資有価証券評価損益等				
評価損益等計				
当期経常増減額	△ 3,790,000	△ 4,665,000	875,000	
2. 経常外増減の部				
当期経常外増減額				
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	△ 3,790,000	△ 4,665,000	875,000	
一般正味財産期首残高	28,111,480	29,791,394	△ 1,679,914	
一般正味財産期末残高	24,321,480	25,126,394	△ 804,914	
II 指定正味財産増減の部				
III 正味財産期末残高	24,321,480	25,126,394	△ 804,914	